



みどり

グリーンヒル
だより
2021年
〈夏号〉

「挨拶」 理事長 津川 恵美子



八月も
中旬を過
ぎ、毎年
恒例のグ
リーンヒ
ルの盆供養も先日無事
に終えました。



昨年からの延期された、「東京2020」オリンピックの開催については、開催されるのか、中止になるのか等々直前まで様々な分野からの意見がありました。

負では敵でも、仲間を思い合う気持ちや、尊敬の気持ちが様々な場面で読み取れたことです。また、サッカー女子の決勝では、試合開始前に、選手・主審・副審が一斉に片膝をつき、人種差別に抗議しました。時代の流れが大きく変わったことを感じたシーンでした。様々なドラマを生み出した。八月八日閉幕を迎えました。日本は金メダル二十七個・銀十四個・銅十七個と、史上最多五十八個との結果となりました。コロナ禍で行われた東京五輪の選手の皆さんには、心か

らの敬意と感謝の気持ちを表したいと思えます。一方、このオリンピック期間中にも新型コロナウイルスの感染は拡大の一途をたどり、八月二日からは東京都を含め千葉・埼玉・神奈川・大阪に緊急事態宣言が発令されました。オリンピックという平和の祭典・象徴の一方で、コロナ禍にある世界中の人々の悲しみや苦しみは、まるで別世界のものとも感じ取れる一面がありました。

この五月に公開された映画「いのちの停車場」を観る機会を得た。都内の救命救急センターで、長年働いていた医師が、あるきっかけでその職を辞し、実家のある北陸の町に帰り、今までの救急医とは正反対の訪問医として在

た。 宅の様々な患者と出逢い、かわり、新しい目を開かれ、最後は病に冒され死期を悟った父から、「命のしまい方」を請われる。悩み、とまどう主人公である医師（吉永小百合さん）が、最後は自分なりの答えを見つけ、物語は終盤となる。北陸・金沢の町の美しさも印象的であった。物語には六人の患者が登場する。救急医であった主人公は、訪問医となり、様々な病気、様々な状況の患者に寄り添い、命の在り方を問うていく。六人様々な患者像があり、それぞれに納得させられる在り方であり、命の輝き方があふれる。全ての患者を通して見えてくることは、六人が各々に精一杯生きていく、ということである。どんな人にもやがて訪れる、命の終わり方について、改めて思いを致すきっかけになった。

(恵)



大きく変わったことを感じたシーンでした。様々なドラマを生み出した。八月八日閉幕を迎えました。日本は金メダル二十七個・銀十四個・銅十七個と、史上最多五十八個との結果となりました。コロナ禍で行われた東京五輪の選手の皆さんには、心か



翠声耀語

残暑厳しき折、皆様のご健勝とご自愛をお祈り申し上げます。

この五月に公開された映画「いのちの停車場」を観る機会を得た。都内の救命救急センターで、長年働いていた医師が、あるきっかけでその職を辞し、実家のある北陸の町に帰り、今までの救急医とは正反対の訪問医として在

(恵)



若者の活躍と共に、勝

たことを感じたシーン

た映画「いのちの停車場」を観る機会を得た。都内の救命救急センターで、長年働いていた医師が、あるきっかけでその職を辞し、実家のある北陸の町に帰り、今までの救急医とは正反対の訪問医として在

た。 宅の様々な患者と出逢い、かわり、新しい目を開かれ、最後は病に冒され死期を悟った父から、「命のしまい方」を請われる。悩み、とまどう主人公である医師（吉永小百合さん）が、最後は自分なりの答えを見つけ、物語は終盤となる。北陸・金沢の町の美しさも印象的であった。物語には六人の患者が登場する。救急医であった主人公は、訪問医となり、様々な病気、様々な状況の患者に寄り添い、命の在り方を問うていく。六人様々な患者像があり、それぞれに納得させられる在り方であり、命の輝き方があふれる。全ての患者を通して見えてくることは、六人が各々に精一杯生きていく、ということである。どんな人にもやがて訪れる、命の終わり方について、改めて思いを致すきっかけになった。

(恵)

8月3日（火）NHK「ニュース7」で放映されました ～コロナ関連の概要～

重症患者や重症化するリスクが高い人以外は自宅療養を基本とする。とした政府の方針について、自宅療養を続けている人や、すでに家族内で感染が広がっている人たちからは不安の声があがっています。慢性的な人手不足に悩む介護現場からは、「介護従事者の家庭内で、感染が広がる」などとして、出勤できなくなるケースが増えるのではないかと不安の声があがっています。

千葉県八千代市の特別養護老人ホームでは先月29日、職員の同居家族が新型コロナウイルスに感染していることがわかり、職員は濃厚接触者と判断されました。家族は宿泊療養を希望したものの空きがなかったため、10日間の自宅療養となったということです。地元の保健所からは、風呂やトイレなど家庭内で接触を完全に絶つことは難しいとして、濃厚接触者の自宅待機は本人の療養が終わってから更に14日間必要だ、と説明されました。職員は今月22日まで勤務できないことになりました。この期間、施設では管理職が介護に当たったり、他の職員が休みを返上してやりくりすることにしましたが、夜勤の回数は多い人で7回にのぼるとのことです。

重症患者や重症化するリスクが高い人以外は自宅療養を基本とする政府の方針について、施設長の津川康二さんは「自宅で療養するということは、家庭内での感染リスクが高まったり、濃厚接触者が自宅待機を続けたりすることになり、介護現場への負担がますます増えるのではないかと懸念しています」と話していました。



「中等症状の方々も在宅療養」となることからの介護現場の課題

ポイント①

7月末時点、入所者、在宅ご利用者総計約880名のワクチン接種状況は86%。職員・従事者のワクチン接種も全体の270名に対して88%（高齢者介護職員では93%を計上）→この違いは児童福祉分野の従事者のワクチン接種が遅れていることを示す

ポイント④

陽性者は合計27名、うち職員は3名、その他は職員のご家族が大半で、利用者のご家族も含む。但し、幸いクラスターには至っていない。

ポイント②

①の件で、接種済み、又は接種出来ていない方々が今後も混合することを前提に福祉・介護サービスの提供を実施していくことが大切。

ポイント⑤

この1年半、法人の指針に従い、特に職員の協力のもと、「ウイルスを持ち込まない」「持ち込ませない」ことを徹底するために、職員の健康状況はもとより、職員と同居するご家族の健康状態も随時報告いただいた成果がこのPCR検査の数値に現れ、かつ水際対策となり、感染予防に繋がったと感じている。

ポイント③

PCR検査は、昨年3月から今年3月までに総計350件、現在は国、千葉県の援助のもと4月から月2回の検査を徹底し、総計2000件を計上。早期発見に現場は助かっている。



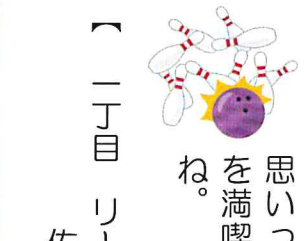
1丁目



コロナ禍の
昨年、今年
の納涼会も
各フロアで
の実施とな
り、七月二
十九日に行

いました。

小規模での開催とな
り、ゲームと軽食
提供を行うことにな
りました。ゲームのヨー
ヨー釣りは狙いをつ
けてフックをヨーヨー
の紐穴にひっかけ釣
り上げます。なか
か難しいようでした
が、一部サポートを
すると、釣り上げる
ことが出来ました。
また、ボーリングで
は球を投げるのが
難しい方も少しサポ
ートすることで投げ
事ができ、倒れた本
数に一喜一憂する姿
も見受けられました。
軽食は、昨年度は
焼きそばだけでした



【一丁目 リーダー
佐藤 優】

思いっつきり納涼会
を満喫したいです
ね。

来年度は、

が、本年度
はお好み焼
きも併せて
提供させて
頂きました。
目の前で調
理される焼
きそばやお
好み焼きの
香りを楽し
みながらあ
つという間に
完食されま
した。

2丁目



昨年に引き続き
今年もフロア
毎で納涼会を開催
致しました。
今年はポスターを
作ってお知らせ
をして、
「今日
はどんなこと
をやるの？」
「楽しみにし
てます♪」等
の声が聞かれ
ました。みど
りは縁日をイ
メージし、昨
年人気だった
金魚すくい、
輪投げに加え
今年新たな
風船ヨーヨー
釣りや射的を
楽しんで頂き
ました。

焼きそば、スイカ、飲み物
を用意し、屋台の雰囲気を感じて
いただきました。久しぶりの炭酸飲料に喜ばれる方も
多くみられました。中でも、焼きそばは好評
で、皆様「おかわりある？」とお腹いっぱい
になるまで食べておられました。
「盆踊りがなくて残念…」との声も聞かれま



した。来年はコロナが収まり、盆踊りが出来るといいですね。コロナ禍においても提供できる事は限られています。工夫し、皆様に季節を感じ、楽しみをもって生活していただければと思っています。

【二丁目サブリーダー 石塚 達也】

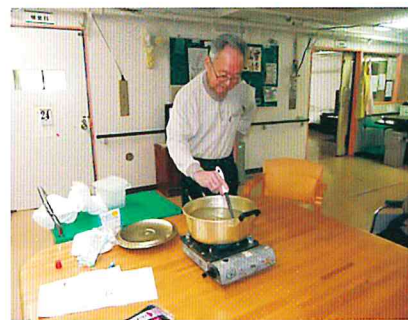


皆さま残さず堪能されました。そして、おもちの金魚すくいも行いました。おもちの金魚すくいですが、水の中の魚たちをポイですくうのは意外と難しいものです。皆さま無我夢中ですくっておられました。



3丁目
二丁目フロアの今年度の目標は、外出など行えない状況なので、「ご利用者に季節を感じて頂こう！」に決めました。活動としては、テーブルに月ごとの生花を活けていくこととし、七月は紫陽花、八月は向日葵を活けました。皆さん声を出して、「きれいね！」と大変喜ばれていました。他に、おやつ作りも行い、水羊羹を作りました。

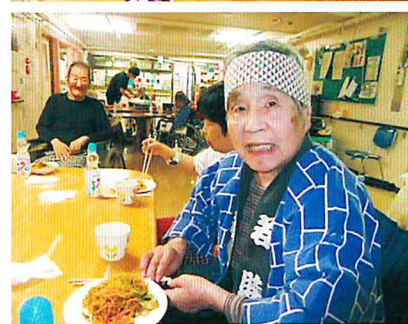
フロアの納涼会では、一緒に焼きそばを作りました。昼ごはんを食べたにもかかわらず、



【三丁目 副主任 一戸 則夫】

フロアでの納涼会となつてしまいました。少し「夏」を味わっていただけたのではないのでしょうか。今度はスイカ割りを予定しています。

今後も季節を感じられる企画を続けていきたいと思っています。



グリーンヒルデイサービスセンター

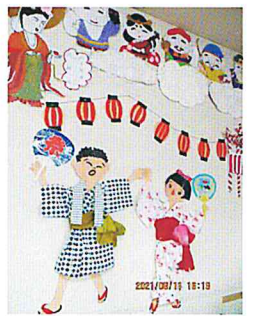
東京オリンピックに甲子園、頑張る選手のみなさんからエネルギーをいただいで、ご利用者の皆様は猛暑にも負けず、リハビリや苑内歩行、様々なレク活動に元気に励まれています。

今年の敵は夏の暑さだけではありません。引き続き感染予防に取組み、個人や家族、そして全体で、目には見えないウイルスを相手に長期戦で戦っている最中です。私たちの健康維持が勝利につながるこの勝負。いつも通り、チーム一丸となつて力を合わせて臨みましょう！先は長いですが、疲れた時は、テイルームで心と身体を癒してくださいね。その為の健康作りをデイサービスのご利用で培っていただけばと思えます。私たちも介護に看護、リハビリに栄養と、各職種の専門知識をフル活用して、皆様の



体調管理をお手伝いしていきます。

様々な季節の行事や、日々のプログラムは、オリンピック同様、感染対策により制約の多い内容



り付けをし、視覚的にも明るさを味わっていただけるよう工夫しています。今は「夏と云えば・・・」



を詰め込んで、賑やかな雰囲気の中でリハビリや体操で身体を動かして、縁日のゲームを行っています。楽しく汗を流しています。この時期に欠かせない水分補給には、夏限定特製レモン水を提供しております。以前、ご利用者ご家族様にはレシピアをご紹介しましたが、



再度お知りになりたい方がいらっしゃいましたら、是非お気軽にお尋ねください。年々暑さが増すように感じる日本の夏。デイサービスにお越しいただき、しっかりと対策を行い、安心して在宅生活をお過ごしください。そして、何より皆さんと一緒に夏を楽しみたいと思います。来年は太鼓の音で盆踊りを踊りましょう♪



【きらりケアワーカー 近藤 智佳】
【デイサービス相談員 南 祐介】

サテライト南デイホーム



コロナ禍での二年目の夏を迎えました。依然、終息には程遠いですが、体調の悪い方は一人も出ておらず今日に至ります。

とても暑い日々が続いているので、水分不足やご自宅に戻つてからの様子・利用日ではない日の過ごし方など気になります。一人も体調を崩すことなくこの夏を乗り切っていただけばと思います。

お一人おひとりの小さな変化も見逃さず、未然に防げるように、職員一同活動を行つてまいります。

【相談員補佐 江川 裕】



高齢者複合ケア施設 地域密着型 特別養護老人ホーム グリーンヒル八千代台

「挨拶」 施設長 日高 和枝



故・小澤の後任として六月十五日付で施設長を拝命いたしました日高和枝と申します。二〇〇七年十月、地域密着型小規模特別養護老人ホームグリーンヒル八千代台は、地域密着型（主に八千代台地域の福祉・介護の拠点）とユニット型（4ユニット体制・全室個室）の利点を活かし、ご入居後においても「住み慣れた地域」で「私らしい生活」が送れるようにと設立し、十五年になります。

各ユニットはリビングを中心に、ご自宅が使われていた「家具」や「思い入れのある品」で「お部屋」を設け、「くつろぎのあるご家族のひと時」をお過ごし頂けるよう「ご家族と協働」を目標に歩んできました。また、地域の資源（ご友人や馴染の場所など）をケアに取組み、「私らしさ（思いやりや希望）」の実現に向け、多職種協働で取組み、ご自宅への外出や外泊、地域行事への参加、併設キッズルームや近隣の小中学校との交流や共生型の「ふらっとほーむ」の運営等、内外問わず積極的に進んできました。しかし、昨年からこのコロナ禍の影響により、全体的に自粛しなければならぬ状況ですが、前小澤施設長の志を引き継ぎ、職員と共に「地域との絆」を求め、科学的な介護でご利用者の日々の生活の安定をはかり、「私らしさ」の実現に歩んでいきたいと思っております。グリーンヒル八千代台へのご支援を引き続き宜しくお願い致します。どうぞ、ご家族様も一緒に「快護」を歩んでいきましょー！



今年も暑い季節を迎えました。慌ただし
いニュースが続く中ではございますが、
グリーンヒル八千代台では季節を体感す
べく恒例の「夏行事」を開催しております。
規模は縮小しておりますが、今年も皆様よ
り「笑顔」また「無邪気な笑い声」を沢山
いただきました。少しでもご覧ください。



面会制限等、ご家族の皆様にご理解とご
協力を賜り、誠にありがとうございます。
八千代市民の接種率も徐々に上がってき
ていますが、コロナ禍においてまだまだ予
断を許さない状態が続き色々大変ですが、
皆様、体調を崩されませぬようご自愛く
ださい。



ひとまずは面会制限の緩和を目標とし、
元気な姿で皆様とお会い出来るのを楽し
みに、引き続き体調管理等に努めて参り
たいと思っております。 【生活相談員 角掛 竜】



セピア色の写真館

札幌にて出生。



時計台の下で幼少期を過ごし、父の転勤により名古屋へ。結婚を期に東京へ。昭和三十三年八千代台に転居。終の棲家となった。娘時代は、ホッケーをやっていたらしい。(結構新し物好きかも)



父と母は娘の私が入成人した後も、手をつないで歩いていました。エルムへの連絡橋で手をつないで歩いている二人をよく覚えています。(ただ、そんなに仲が良かったのかな? 笑)

「人」。ボランティア精神旺盛であり、PTA、自治会、青少年補導員、防犯、数えればきりがな

加賀美 裕子 様
保坂 恭子 (長女) 様



いほど、飛び回っていました。そして、私たち家族へは誰にも負けない「無償の愛」を貰っていました。母は「マイライフ」に満足したのでしょうか?

笑っているかな? 母の口癖は「ケセラセラ」きつと、あちらでも賑やかにやっていることと思います。

グリーンヒルの皆様へ

このたびは、たいへんお世話になり、ありがとうございます。最後の十一日間を優しい気持ちの中で過ごすことができました。

思い起こせば、南デイサービス様から始まり、グリーンヒル八千代台様は、母の最晩年をずっと



支えてくださいました。私たち家族の願いは、「母が笑顔で、少しでも楽しく過ごしてほしい」でした。その思いで何年も過ごしてきました。そして、私たちの思いを叶えるべく救世主のごとく、皆様は、母のみならず、私たち家族にも寄り添ってくださいました。

最後の十一日間は、奇跡を見ているようでした。母は微笑み・・・意思のある目で私たち家族を見つめていました。どれだけ救われたことか……。皆様のおかげです。「介護」の真の姿を見たと思います。

尊いお仕事だと思えます。ありがとうございます。これからも皆様のご活躍を願っています。



小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台 サテライトグリーンヒル勝田台

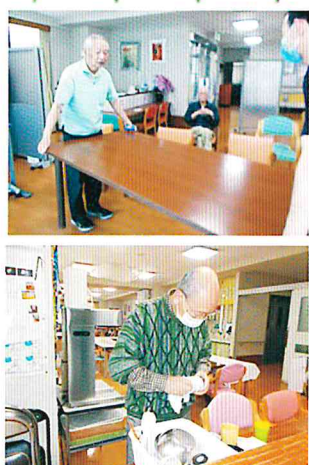


7月7日（水）七夕

沢山の飾りと短冊を作り、皆様と一緒に笹に飾り付けをしました。今年は折り紙に沢山の切り込みを入れて作る「天の川」をいっぱい飾りました。「提灯」や「やっこさん」も飾って、とても賑やかな七夕飾りになりました。七夕当日は雨の夜が多いですが…今年も梅雨前線の影響で長雨の夜でしたね。来年は天の川が見られますように！ 【グリーンヒル勝田台 主任 吉村 宣博】



男性ご利用者は、職員と一緒に食器やテーブルを拭くことをお願いすると、いつも快く引き受けてくださいます。テーブル拭きでは、上の面だけではなく、縁や裏側も、そして食器拭きでは丁寧に拭きとり、食器ごとに並べて下さいます。また、レクリエーションの準備を職員が始めると、自らテーブル運びも手伝って下さいます。「いつも仕事でやっていたから、これくらいお安い御用！」と笑顔で話して下さいます。若い頃のお仕事や、ご家族のお話を楽しそうに話して下さいます。ことをとても嬉しく思います。



私たちは毎日様々な仕事をしながら生活しています。職業もありとあらゆる分野の仕事が存在し、人は、他

の人の役に立っていると実感出来ると、とてもやりがいのある仕事だな。と感じることが出来ます。誰も経験があるのではないのでしょうか？

人の役に立つ＝自分の役割（仕事や家事など私生活も含む）その実感は自分自身の『生きがい』にも繋がりが、充実した生活になり、役割を感じれば感じるほど、人生はイキイキとしたものになっていくと思います。「日課」にも同じような働きがあるのではないのでしょうか。

例えば、【朝起きる⇒歯を磨く⇒身支度をする⇒仕事に行く】というような日課とは異なり、●決まった曜日にゴミ捨てを行う ●飼っている魚に餌やりをする ●孫の面倒をみる ●洗濯物をたたむ等自分のことではなく、自分以外の人やモノに対しての役割をさして、自分がその日課を行うことで、助かる人がいたり、喜んでもらえたり、信頼されたりと、そのような感情の動きが感じられると、人は先程の「役割」と同じように自分の存在意義を見出すことが出来るのでは？と考え、私たちは日々の支援に取り組んでいます。

【グリーンヒル八千代台 主任 上園 順子】

放課後等デイサービス グリーンヒルキッズ

待ちに待った夏休みが始まりました！

「コロナ感染が心配ですが、子供達は今まで通り元気に楽しく過ごしています。」

朝の学習は、集中して学校の宿題や課題に取り組みます。学習を終えると、それぞれが室内でパズルやトランプ・レゴ・脳トレ・工作など自由遊びをしてリラックスします。

朝の会では、日直が司会担当になり、ラジカステ操・朝の歌・健康観察を行い、みんなが元気に一日のスタートを確認します。楽しみなお弁当の合言葉は「無言」。このコロナウイルスもすっかり身につきましたよ。長い夏休み、制限された活動の中ですが、楽しい計画をたくさん用意してあります。放課後では経験できない活動を取り入れて、子ども達の毎日の笑顔をたくさん増やしていきたいと思えます。

七月には、キッズの新しい試みとして保護者参加型の『SST講習会』を開催しました。いろいろな場面を想定して、日常生活に役立つ会話方法を学ぶことで、保護者の皆さんが悩みを共有できたり、子どもとの接し方を考える良い学びになりました。

七夕の子ども達のかわいいお願い事や、子どもたちが自分たちで考えた縁日ごっこの様子をご紹介します。

【管理者 六倉 富子】



夏休みの縁日ごっこ 村上とゆりのき交流しました！



たなばたに
願いをこめて



水ヨーヨーつり

そ〜っとやさしく引き上げるのがコツだよ！



ザリガニつり

本物の大きなアメリカザリガニが、スルメイカをパクっと食べたらつりあがるよ！



自分の好きな絵を描いたり、シールを貼ったりして『うちわ』を作ったよ



射的

わりばしで鉄砲を作りました。輪ゴムをたくさん使ったよ！遠くまで飛ばして、的を倒すのが楽しかったよ！



さかなつり

マグネットにクリップを引っかけるよ！つれたあ〜



夏休み工作は
ペットボトル
で風鈴作り



モグったたき





若葉ハウス



☐ 頃より若葉ハウスの運営にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

若葉ハウスの庭先では夏の日差しを十分浴びて、夏野菜が緑濃くグングンと空に向かって背を伸ばし、元気いっぱいに育っています。一気に伸びようとする蔓や少し寄り道をしている蔓を観

ていると、フッと子どもの姿を重ね、思い耽けてしまう、そんな時があります。

春先に若葉ハウスを1名が巣立っていき、新緑の頃に、それを追うようにまた1人若葉ハウスを後にしました。現在は3名の子ども達が生活しており、それぞれの目標に向かい、それぞれが一生懸命頑張っています。

夏の子供達は不思議なくらい成長する時期でもあります。ここで暮らす子供達も、この夏が終わるころ、少しでも目標に近づけているよう、そして一人ひとりの子供達が安心して目標を目指し、進むことができるよう、職員のチームワークを大切に邁進していく所存です。今後共、ご支援の程宜しくお願いいたします。



【ホーム長
片桐 正美】

社会福祉法人 翠燿会

まずはお気軽にお問い合わせ下さい。
ホームページ：<http://www.greenhill.or.jp/>

- 特別養護老人ホームグリーンヒル
- グリーンヒル短期入所生活介護
- グリーンヒル居宅介護支援事業
- グリーンヒルデイサービスセンター
- グリーンヒル訪問介護
- グリーンヒル福祉タクシー



〒276-0022 千葉県八千代市上高野2058-5
047-484-6111 (代) / 047-485-8007 (FAX)

- グリーンヒルサテライト南デイホーム
- 〒276-0033 千葉県八千代市八千代台南1-24-22
047-484-2735 (FAX兼用)

- 八千代市勝田台地域包括支援センター
- 〒276-0023
千葉県八千代市勝田台1-16
京成サンコーポ勝田台E棟111号室
047-481-3515/
047-481-3522 (FAX)



- グリーンヒル八千代台小規模多機能型居宅介護サテライト勝田台
- 〒276-0023 千葉県八千代市勝田台1-7
京成サンコーポ勝田台D棟208号室
047-485-1088 / 047-481-8354 (FAX)

- 特別養護老人ホームグリーンヒル八千代台
- 短期入所生活介護グリーンヒル八千代台
- グリーンヒル八千代台居宅介護支援
- グリーンヒル八千代台小規模多機能型居宅介護
- グリーンヒル八千代台訪問介護
- グリーンヒル八千代台キッズルーム

〒276-0034 千葉県八千代市
八千代台西7-2-69
047-480-2777 (代) /
047-480-7770 (FAX)



- 放課後等デイサービスグリーンヒルキッズ
 - 放課後等デイサービスグリーンヒルキッズゆりのき台
- 〒276-0029 千葉県八千代市村上南1-10-3
G・STARマンション1階B号室
047-455-8585 (FAX兼用)
- 〒276-0042 千葉県八千代市ゆりのき台3-3-5
AHCゆりのき第2ビル1-101
047-411-5711/
047-411-5721 (FAX)



- 自立援助ホーム「グリーンヒル若葉ハウス」
- 〒276-0037 千葉県八千代市高津東2-8-14
047-456-8640